

第36回日本神経放射線学会 ランチョンセミナー

Molecular Neuroimagingの 新しい展開

日時

2007年2月9日(金)

11時55分～12時55分

会場

全日空ホテルクレメント高松
「飛天・東」

座長

井上 佑一 先生

大阪市立大学大学院医学研究科
放射線医学 教授

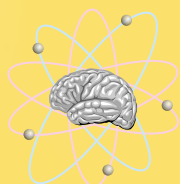
演者

畑澤 順 先生

大阪大学大学院医学系研究科
核医学講座 教授

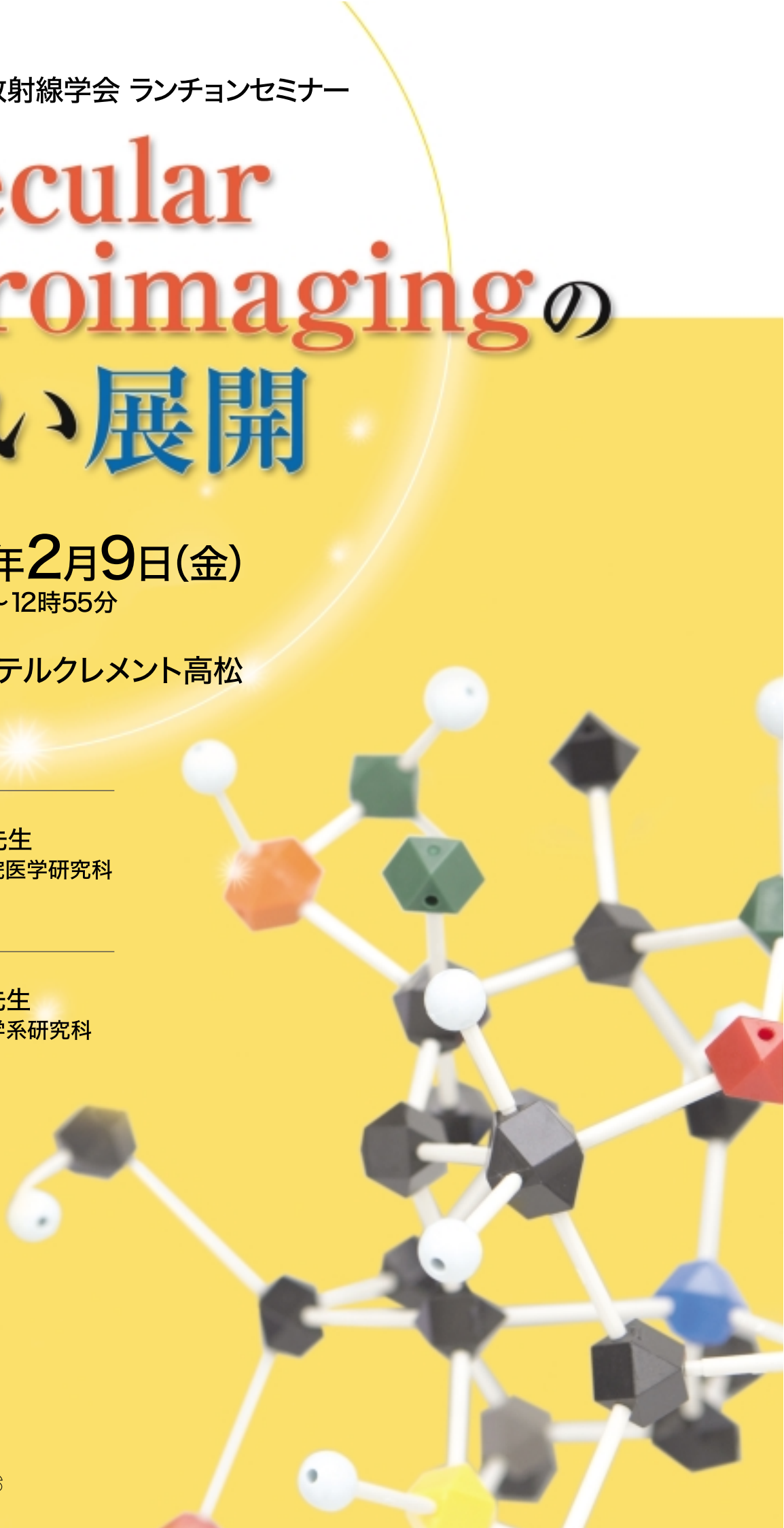
【共催】

第36回日本神経放射線学会
日本脳神経核医学研究会
日本メジフィジックス株式会社



JCNN

 nihon
medi+physics



Molecular Neuroimagingの 新しい展開

Theme

「脳と分子イメージング」について

分子イメージングとは生体内での分子プロセスの可視化に関する基礎的・臨床的研究、および開発された可視化手法を利用する応用研究を示し、新しいイメージング技術によって生命体を明らかにしていこうとするものと考えられている。米国ではSociety for Molecular Imaging (SMI)、Academy of Molecular Imaging (AMI) の二つの学会が盛んに活動しており、来年9月には初のJoint Molecular Imaging ConferenceがRhode Islandで開催される。米国では近年光イメージング(optical imaging)の演題が急激に増加しているのが注目される。我が国でも分子イメージング研究に対して文部科学省、厚生労働省、経済産業省による大型のプロジェクトが開始され、昨年5月には日本分子イメージング学会が設立された(会長:福井大学 藤林靖久教授)。分子イメージングには様々な分野が含まれるが、PET、SPECTによる核医学的手法はその高い感度と定量性、標的分子の多様性から重要な位置を占めている。特に脳に関しては数多くの製剤が開発されており、高機能分子プローブ開発の主なターゲットになっている。

日本脳神経核医学研究会 運営委員(企画担当)

外山 宏(藤田保健衛生大学医学部 放射線科)

About JCNN

日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的としています。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科などで実際の診療に携わる臨床医、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の強力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、脳核医学に関する多くの課題について議論する場を設定して、検査法の確率、臨床使用のためのガイドラインの作成、国際的な枠組みの中で情報交換などを行っていきます。

研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

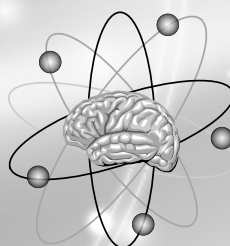
日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F

日本コンベンションサービス株式会社内

E-mail: infojcnn@convention.co.jp

Tel: 03-3508-1214 Fax: 03-3508-1302



JCNN